

## 政治基盤の要求とその生産性と現実の許容性

令和5年12月2日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

ワシントン DC における政治環境は、アメリカが世界の維持運営を自己において責任することにおけるその要求であり、それら環境基盤がそれら現実を可能とするものである。政治は正しい情報において、その判断と決定を行うことなのである。

これらは現実の維持運営、また国家の運営への政治基盤は、その可能な限りにおいて、大きく要求されることを意味する。他方における理解は、これら現実が国家と社会における現実の創造を有し、コスト費におけるその現実の構築は、必ずペイするものなのである。

これら政治環境の再整備は、これらにおける自己基準の向上が国家や社会における向上を与えることは疑いがないのである。

また、国家が自己の維持永続を行うことは、想像に勝る政治の優秀さや基盤を要求されることは理解しなくてはならない。これらは知性の向上が、世界との対等な現実を構築することを許容することを理解しなくてはならない。

これらは政治が国家の未来と現実を与えることは真実なのである。そのため、それら基盤の整備はそれら現実における向上や優位性を与えるものなのである。

これらは中央行政と地方行政において、ソフト資産の向上をはるかに大きく求められることであり、それらは基盤の拡大と整備においてそれを可能とできるのである。

これらは新しい国家の構築であり、それらが未来をより優れたものとするのは真実なのである。それらは組織の再編や、新たな組織の整備において、現実への対応を実現できるのである。

これらは自民党の政調がすべてを行うことにおける制限性は、これら政治基盤への移管や、新しい政治決定と計画方法への転換などにおいて、新たな国家運営体制への転換を実現できるのである。これらは新たな国家への転換を、政治が自らにおいて行うことであり、それらは必ず結果を与えることができるのである。